

# はじめての親子キャンプ教室（11月）持ち物

持ち物	説明
着替え	<p>汚れてもよいもの。日中は15℃～20℃くらい。日が陰ってくると、15℃以下になるケースもありそうです。</p> <p>風が吹くと、体感温度がグッと下がります。長袖・長ズボンをベースに、ウインドブレーカーなど、動きやすく、防風性のあるアウターを用意できるとよいでしょう。</p> <p>トイレに行きにくくなる子もいるので、不安がある場合は下着は多めに持参してください。</p>
パジャマ	<p>こだわりがなければ不要です。スウェットやジャージ等のほうが、汚れても気にならず、保温性も高く、使い勝手が良いでしょう。</p>
防寒着	<p>夕方～夜～明け方は、気候によっては、10℃くらいまで冷える可能性があります。直前の天気予報によって、冬物のジャンパーを用意してもいいでしょう。</p>
レインウェア	<p>手がふさがってしまうと、アウトドア活動に支障をきたすため、傘のみはNG。防水透湿素材の上下があると、子どもたちは、雨をモノともせず元気に遊び回ります。</p> <p><a href="#">雨のキャンプが劇的に楽しくなる！レインウェア（雨合羽）の選び方 完全解説</a></p>
水遊びの服装／サンダルなど	<p>徒歩2～3分で海です。もう気温が低いから遊ばない……とは大人のお考え。水着は着ないにしても、着替えは多めに準備しておく心安心です。</p>
バスタオル／お風呂用品ほかアメニティ	<p>藤井荘新館（フロントのある建物）での入浴ができます。また、車15分ほどのエリアに「<a href="#">勝浦ホテル三日月 アクアパレス</a>」や「<a href="#">勝浦つるんつるん温泉</a>」等があります。※温水シャワーを無料で使えますが、寒いかもしれません</p>
お泊りグッズ	<p>洗顔、歯磨きほか、任意のアメニティグッズ類</p>



持ち物	説明
食器セット	カトラリー（はし、スプーン、フォーク等）、コップ、カレー皿、汁物用お椀があれば、大抵の状況に対応できます。素材は、メラミン製、ホーロー製、プラスチック製など、割れにくいもの。キャンプでは、なるべくゴミを減らすため、使い捨ては避けたいですが、焚き火で焼却できる素材であればかまいません
ハンギングドライネット	必須ではありませんが、洗った食器の乾燥／保管場所としてとても重宝します。Amazon等で千円台から購入できますので、入手してしまってもよいでしょう。
ネックライト	夜間のテント内や手元用の明かりです。片手がふさがると不便なケースが多いため、気軽に首から下げておける、ネックライトをおすすめします。例： <a href="https://amzn.to/30Egzav">https://amzn.to/30Egzav</a>
モバイルバッテリー	スマートフォン等の充電は、モバイルバッテリーの持参がベストです。なお、docomo、au、SoftBank主要3キャリアの電波は、問題なく通じます。
チェア、テーブル	車参加で、焚き火にぴったりのアウトドア用のチェアやテーブルがある方は、持参OK！※現地にイス、テーブルはありますので、必須ではありません
常備薬	<p>「はじめての親子キャンプ教室」運営チームでは、切り傷、擦り傷、火傷の軽微なものについては、湿潤治療の用意をしています。それ以外は、一切の治療・投薬行為をいたしませんので、通常の家旅行・家族キャンプ同様に、各自で準備・対応をお願いいたします。</p> <p>必要に応じて各自で準備いただく物の例／保険証、解熱剤、鎮痛剤、下痢止め、化膿止め抗生物質、かゆみ止め、虫よけ、絆創膏、その他常備薬など</p>



持ち物	説明
<p><b>自宅で使用している枕 ／キャンプ用の携帯枕</b></p>	<p>必須ではありませんが、特にお子さんは、枕が変わると、うまく寝付けないケースがあります。車参加の場合、自宅で使っている枕を持ち込むと、安眠できる可能性を高くできます。</p> <p>また、ご用意しているキャンプ用具に、枕は含まれません。Amazon等で、キャンプ用の携帯枕を購入するのもおすすめです。</p>
<p><b>寝袋（シュラフ）</b></p>	<p>キャンプ用具一式は、ご用意しています。ただし、寝袋については、新型コロナウイルス感染防止の観点から、なるべく持参をおすすめしています。</p> <p>購入する場合は、快適温度・使用可能温度をチェックします。春・秋のキャンプでは、5℃対応を目安としてください。</p> <p><u><a href="#">パパ&amp;ママのための寝袋・スリーピングバッグ・シュラフの選び方 完全ガイド</a></u></p>

